

2012年2月22日

明治安田生命新東陽町ビル 建築環境総合性能評価システム「CASBEE」でSランクを取得

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 松尾 憲治）は、「明治安田生命新東陽町ビル」が、建築物の環境性能の評価・格付けを行なう建築環境総合性能評価システム「CASBEE」（Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency）において、最高ランクとなるSランク※¹を取得しましたので、お知らせします。

1. 明治安田生命新東陽町ビルについて（別紙参照）

当ビルは、セキュリティ機能強化と事務における効率化を通じたお客さまサービスクオリティ向上を目的に、事務部門の集約と多様な機能を集積し、2011年11月に竣工しました。

当社CSR経営宣言に則り、省CO₂に寄与する先進技術を積極的に導入し、CO₂排出量の20%削減をめざして建設した環境配慮型ビルです。

なお、当ビルでの省CO₂技術に関する取組みは、国土交通省の「平成21年度（第2回）住宅・建築物省CO₂推進モデル事業」に採択されています※²。

2. 建築環境総合性能評価システム「CASBEE」について

建築環境総合性能評価システム「CASBEE」は、建築物の環境性能を公的に評価・格付けするもので、省エネ・省資源・リサイクル性能等の環境負荷削減とともに、室内環境や景観等の環境品質・周辺環境への配慮を含めた建物品質の総合評価制度です。

今回の認証取得は、環境負荷削減に寄与する施設計画（可能な限りの緑化に加え、自然換気・採光、雨水利用、太陽光発電、放射併用空調・採光反射板等の先進技術を積極導入）が評価されたものです。

<CASBEE評価結果>

- ・総合環境性能評価：Sランク
- ・評価段階：実施設計段階
- ・評価ツール：CASBEE-新築2010

※¹ 総合環境性能評価のランクは、「S（素晴らしい）」「A（大変良い）」「B+（良い）」「B-（やや劣る）」「C（劣る）」の5段階で評価

※² 当社が国土交通省に対して応募したもの。採択方法については、独立行政法人建築研究所と外部の学識経験者からなる評価委員会の評価結果をふまえ、国土交通省が決定

＜明治安田生命新東陽町ビル外観＞



＜建物概要＞

所在地	東京都江東区東陽2丁目2番11号
敷地面積	30,081.77 m ²
延床面積	96,911.48 m ²
階数・高さ	地上12階、地下1階
主な用途	事務所、宿泊施設
設計監理	竹中工務店
施工	竹中工務店